

糸満海人の魂が、国の宝に。

— 道具が伝える、糸満の誇り —

令和8年3月24日。「糸満の漁撈用具」887点が、国登録有形民俗文化財になりました。沖縄県内で実に19年ぶりのことで、糸満市にとっては初めての国の民俗文化財の誕生となります。

サバニ、ミーカガン、アギヤー網—。

これらの道具は、かつて糸満の海人たちが使い込み、日本全国、さらには東南アジアをはじめとした、海外にまでその名を広げました。そして今回、これらの道具が国の「宝」として認められたのです。

では、その道具に宿った技と魂は、誰の手によって、どのように継がれているのでしょうか—。

その答えを、この特集で一緒に探してみましよう。